



大学生ボランティア の活動報告会 & 野村忠宏さんによる 講演会

報告

2018/3/10

大学生ボランティアの活動報告会&野村忠宏さんによる講演会

・前半：ボランティア活動に取り組んだ首都大生による活動報告会

3月10日（土）、南大沢キャンパス講堂小ホールにて、活動報告会を開催しました。本センターが開設されてから2年が経過し、この間、多くの学生が地域に飛び出し、地域の方々を支えられながら、社会課題と向き合い、考え、行動することを通して、学び、成長してきました。そこで、この1年間の学生たちの活動成果や想いを振り返り、共有することで、ボランティア活動の意義や効果を多角的に考えるとともに、まだ活動したことがない学生にむけて、ボランティア活動を身近に感じ、一步を踏み出すことを応援する場として、本報告会を開催し、74名の方にご参加いただきました

本センターが実施した「スポーツボランティアプログラム」「地域ボランティアプログラム」に参加した学生や、本センターの学生コーディネーター、登録団体など合計9団体が発表を行いました。進行や運営も学生コーディネーターが行い、すべて学生による手づくりの報告会でした。

【発表団体】

1. 応援団リーダー部
2. 災害復興・都市防災研究室
3. 地域ボランティアプログラム
4. スポーツボランティアプログラム
5. 東日本きずなプロジェクト
6. S C O K
7. 競技ダンス部
8. & T M U (みなみおおさまカフェ)
9. ボランティアセンター学生コーディネーター

活動の目的や内容、学んだこと、課題などについて発表がありましたが、発表の形式なども工夫されており、どの団体も自分たちの言葉で一生懸命話す様子が印象的でした。また、それぞれ地域の方や団体とつながり、深く入り込み、楽しんで活動している様子が伝わってきました。その活動を通して、自分自身も学んだり成長していることが感じられました。課題や今後の展開についても語られ、現状に満足せず、さらなるビジョンをもって取り組んでいることが分かりました。

会場の参加者からは、各発表に対して、質問・意見が寄せられ、学生の活動への関心の高さを感じましたし、連携団体の方やご指導いただいている教員からも温かいコメントをいただ

き、学生の取組が地域の力になっていることを感じました。発表した団体同士も互いの活動を知ることができ、刺激となったようです。



・参加者の声

- 一口にボランティアと言っても、幅が広いことを知ることができた
- プレゼンテーションの方法などにも工夫の跡が見られた
- 社会への貢献や学生の成長が感じられて良かった
- 学生が地域の方と一緒に活動している姿が大変良かったと思う。本来のボランティアのあり方だと思った
- 学生、協力者それぞれからの視点があり良かった
- 自分たちの発表にどんな反応が返ってくるか不安だったが、質問などしてもらって良かった
- 自分が所属している団体以外の活動内容を知ることができた良い機会だった
- 昨年発表を聞いた団体の活動も、より進化していたので、来年も楽しみにになった



・後半：野村忠宏さんによる講演会

学生による活動報告に続いて、本センターの設立のきっかけの一つである東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて機運を高めていくために、アトランタ・シドニー・アテネオリンピックにおいて、柔道3連覇を達成された野村忠宏氏より、オリンピックに出場された際のボランティアの方

とのエピソードにも触れていただきながら、「折れない心」をテーマに、競技人生について、ご講演いただきました。

中学・高校・大学等で経験した辛い体験や挫折に対して反骨精神でそれをチカラに変えてきたお話や大学での人生を変えた恩師との出会い、心の変え方など、ユーモアを交えながら、どのように自分と向き合ってきたかについて、お話をいただきました。また、学生からの質問にも丁寧に答えていただき、会場全体が暖かい空気に包まれました。予定にはなかったのですが、最後には、会場からの要望に応じていただき、希望者全員と握手をしてくださり、3つの金メダルを間近で見せていただくこともでき、大変貴重な経験となりました。



・参加者の声

- 「折れない心」のタイトル通り、中学・高校・大学で過ごした辛い経験や挫折を力に変えた彼の経験談を聞くことができて大変良かった
- 自分で決めたことは、やり通すという精神に感動した
- 言葉は意味より誰に言われるかが重要と話されていたが、まさに超一流のアスリートの話は大変説得力のあるものであった
- 「意識を変えると質が変わる」この言葉は最大の収穫だった
- 本当に芯の強い方だと感じた。強くあるための努力、心の変え方を伺えて光栄だった
- 参考になるお話ばかりで、自分の生き方はこれでいいんだと思った
- 支えるスポーツとしてのボランティアでの関わりの大切さにもつながる話を聞けて良かった
- 質疑応答が良かった。もっと長めにとってほしかった
- 内容が素晴らしかっただけに、もっと多くの人に聞いてほしかった